

平成22年度

第9回

山形南高等学校(旧制二中・二高)
山形南高東京同窓会総会議案書

〈活動報告〉 〈活動方針(案)〉



つゆめ.
1200¹³/2kg

建設・参加・交流・結束・母校愛

期日／平成22年10月9日(土)

時間／午後2時より

会場／「ゆうぼうと」

品川区西五反田8-4-13

TEL.03-3494-6473

事務局 〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階

山形県東京事務所内 山形南高東京同窓会事務局

電話 (03) 5212-9026

FAX (03) 5212-9028

山形南高等学校(旧制二中・二高)

東京同窓会とは!

1. 本会は、2,500人の会員で組織する同窓会であります。
 2. 本会は、私達を育ててくれた母校に感謝し、母校の発展に寄与する組織であります。
 3. 本会は、同じ母校で学んだ会員が親睦を深めるための組織であります。
 4. 本会は、大都会で生活する会員が相互に助け合い、社会的に活動できるよう激励する組織であります。
 5. 本会は、会員の社会的地位向上を図るために、情報交換と交流を行う組織であります。
-
-

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 応 援 歌 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

「空はコバルト」

- 一 空はコバルト 大地は招く 我等が指の 指すところ
南高健児の 憧れの 緑色増す 千歳山
若き命は 輝きて 我等が胸は 湧きかえる
- 二 若さに誇る 眉あげて 希望の明星 仰ぎつつ
風は試練の むちの音と 鍛え鍛えし 我が腕 もえたつ命の 我が春に
丘の桜も 乱れ散る 丘の桜も 乱れ散る

「おお九百の」

- 一 黒雲やぶり 今荒れる 蔵王おろしを 頬に受けて 学舎かこむ 健児等の
誓いし言葉 ひとすじに おお九百の熱情の 心ぞひとつ むかえ撃つ
群なす敵の その中に とび散る花は おお南高
- 二 松の緑に 路あかし 阿古耶の姫の 哀しみに 意気で燃えたつ 若人の
誓いし言葉 ひとすじに おお九百の友情の あつき血潮は 迎え撃つ
乱れる敵の その中に そびえる旗は おお南高
- 三 はるかに光る 松原の 青き流れに 身を清め 千歳を仰ぐ 健児等の
誓いし言葉 ひとすじに おお九百の青春の 鍛えし胸は迎え撃つ
崩れる敵の その中に 輝く勝利の おお南高

「若き情熱」

- 一 若き情熱 鉄の意志 陣輝く 健児等が
今堂々と 歩々を行く 決戦の野に 風青し
- 二 胸にあふるる 熱血は 天に轟き 地に響く
我が意気正に 火と燃えて なれ必勝の 旗の風

「ふるえ我等が南高健児」

- 一 奮え我等が南高健児 青空高らかに 希望をのせて
鍛えし腕を 示すは今ぞ いざ たて たて 今日の栄冠 我にあり
- 二 力溢ふるる南高健児 蔵王の嶺を 日毎に仰ぎて
鍛えし腕を 示すは今ぞ いざ たて たて 今日の栄冠 我にあり

総 会

第一部 講 演

テーマ「私の陶芸人生」について

陶芸家 会田 雄亮氏(二高2回)

第二部 総会次第

1. 東京同窓会会長挨拶
2. 議事
 - (1) 平成21年度活動報告
 - (2) 平成21年度収支決算報告ならび監査報告
 - (3) 平成22年度活動方針 (案)
 - (4) 平成22年度収支予算 (案)
 - (5) 規約及び規程制定 (案)
 - (6) 平成22年度役員改選
 - (7) その他

—— 懇親会場に移動 ——

陶芸家 会田雄亮 略歴

- | | | | |
|---------|--|---------|--|
| 1931 | 東京に生まれる | 1986-90 | 通産省デザイン奨励審議会委員 |
| 1956 | 千葉大学都市計画卒
宮之原謙氏に師事
陶芸の道に入る | 1986 | ・ヨーロッパクラフト展実行委員長
・第1回国際陶磁器コンペティション
“美濃”審査員
・個展 山形大沼 |
| 1961-64 | ・渡米 ポストン美術館付属美術
学校講師
・Bennington Potters Co:
チーフデザイナー
・Design for Production展 出品 | 1987 | ・ポルトガル国際陶芸シンポジウム
招待参加
・個展 静岡松坂屋
・個展 新宿伊勢丹 |
| 1965-76 | ・日本デザイナークラフトマン協会理事
・日本ニュークラフト展 審査員 | 1989 | 第2回国際陶磁器コンペティション
“美濃”審査員 |
| 1968 | イタリア ファエンツァ国際陶芸
コンペ金賞受賞 | 1990 | 会田雄亮展 ミキモトホール |
| 1969-70 | 個展 彦番館画廊 サインデザイン
金賞受賞 (大阪伊奈ビル陶壁) | 1991 | ・(社)日本建築美術工芸協会理事
・会田雄亮展 ミキモトホール |
| 1972-76 | 日本デザイナークラフトマン協会 理事長 | 1992 | 東北芸術工科大学芸術学部教授 |
| 1973 | ・デザインイヤー運営委員 広報
実行委員長
・世界インダストリアルデザイン
会議 事業委員長 | 1993 | ・会田雄亮展 新宿伊勢丹
・デザイン功労賞受賞
・会田雄亮展 静岡伊勢丹
静岡新聞社主催 |
| 1974 | 73年度 日本インテリアデザイン協会賞
受賞 (名古屋観光ホテル) | 1994 | ・ポストン美術館シンポジウム招待
参加 ゲストスピーカー
・会田雄亮展 ミキモトホール |
| 1976-79 | (社)日本インテリアデザイン協会 理事長 | 1995 | 会田雄亮展 新宿伊勢丹 |
| 1977 | ・イラン国際クラフト会議招待出席
ゲストスピーカー
・オーストラリア政府招待により
オーストラリアを各地訪問
・第2回吉田五十八賞受賞
(新宿三井ビル広場の造形) | 1996 | 会田雄亮展 山形松坂屋 |
| 1978 | 世界クラフト会議実行委員 建築と
クラフト委員長 | 1998 | 東北芸術工科大学学長 |
| 1979 | ・米国Rochester Institute of
Technology主催
・国際クラフト会議招待出席
ゲストスピーカー | 1999 | 会田雄亮展 新宿伊勢丹 |
| 1981 | 個展 山形松坂屋 | 2000 | 会田雄亮展 新宿伊勢丹 |
| 1985 | JETRO事業によりインドネシア
各陶業地視察 | 2002 | ・東北芸術工科大学名誉教授
・会田雄亮展 新宿伊勢丹 |
| 1985 | 個展 山形松坂屋 | 2004 | 日韓中 国際陶芸展
(北京中国美術館) 招待出品
シンポジウム参加 |
| | | 2004-05 | 「会田雄亮展」～変貌する陶土～
巡回展開催
・北海道江別セラミックアートセンター
・山形美術館
・渋谷区立松濤美術館 |
| | | 2006 | ・愛知県立芸術大学客員教授
・会田雄亮展 新宿伊勢丹 |

議案第1号

◎活動総括

着実に歩むもスピード感に欠ける

総会完了を踏まえ、今期も「やるぞ」との覚悟を固め、スタートしました。常任幹事会で計画の役割分担を決め、執行能力の向上に努めることにしました。

平成14年12月3日に再発足した東京同窓会が活動と運営で留意してきたことは、次の諸点であります。

1. 10年間で何人が役員になっても、正しく誤りない活動と運営ができるよう組織の制度設計を行い整備する。
2. 常任幹事会の結束を固める。小異を脇において大同団結する。ケンカはしない。
3. 常任幹事会員は、奉仕の精神で活動を行う。交通費、食事代、事務費等は、財源が乏しいので会員の自己負担とする。
4. 会計処理において不正使用やムダ遣いがないようにする。会計の出納及び管理は、母校出身の県職員に委託する。
5. 常任幹事会員には、東京同窓会の発展に意欲のある人を積極的に登用する。
6. 東京同窓会の活動においては、知り合いを多くすることが大事なので、積極的に交流を深める。

これまで以上の諸点を大方針とし、計画の達成に向けて運営を続行してきました。

今期も以上の諸点を踏まえ、計画の具体化に向けて取り組んできましたが、検討不十分で大きな成果を出すことができませんでした。

その要因は、計画の進行管理と点検、議論の不十分さにありました。結果的に、執行にスピード感が欠けました。

すべて会長の責任であります。心からお詫び申し上げます。

課題は、役割分担の徹底、進行管理と点検の強化、担当者の努力、早期解決力の向上等であると考えております。

これからも東京同窓会会員の方々の期待に応えるよう頑張ってまいります。

◎主要な取り組みと課題について

1. 会報発行と多彩な紙面づくりの取り組み

会報の発行は、前任者の多大な貢献によって実現しました。

前任者より編集者を交代してもらいたい旨の申し出があり、今期より編集責任者及び編集委員が交代しました。

編集会議を行い、「読まれる会報」「役立つ会報」「本会の発展に寄与する会報」づくりの検討を行ってきました。

従前の会報のいい点を継承し、一部紙面を変更することになりました。

課題は、原稿集めと予算の確保であります。

2. ホームページの開設と内容強化

専門的な知識と経験をもつ担当者の力により、ホームページを開設することができました。

ホームページを更新して、内容を強化してきました。

アクセスも多くなり、本会の存在と活動が分かるようになってきました。

課題は、ホームページの存在の周知徹底と情報収集、経費負担の問題であります。

3. 常任幹事会の増員と活発な議論展開

常任幹事会を強化することは、本会発展に必要なことであります。

総会で知り合った方々をお願いをして、常任幹事を増員しました。その結果、議論が活発になりました。

課題は、情報を共有し、認識の違いを少なくすることです。

認識の違いは、結論の違いになり、対立の要因になります。

情報公開し、共有化を図り、相互の理解力を深めていきます。

4. 会計規程（案）の検討と制定

本会は発足以来、「永遠の発展」を願い、10カ年で運営と活動に必要な制度設計を行い、実現を図る目標のもと歩んできました。

今日まで、表彰規程、寄付金取扱規程、財政処理方針、組織図、役員
の役割分担、運営と活動のルール、総会議案書の形づくりなどに
取り組み実現してきました。

本会も年数を重ね、会計規模が大きくなるにつれ、「財政処理方針」
だけでは、円滑な執行ができない状況が出てくることが考えられます。

会計処理の間違いや不祥事の発生は、組織崩壊につながります。

本会発足以来、会計の正確な処理と透明化に努めてきました。

会員の方々から追求や疑問をもたれることのないよう取り組んできました。

会計処理を明確にするため、会計規程（案）を検討し、総会に議案として上程することにしました。

課題は、総会で議案決定をしたならば、その規程にしたがって円滑に、
正確に会計処理をすることです。

5. 常任幹事会の強化のための増員

常任幹事会の執行能力向上と後継者づくりのため、総会等で意欲がある人の発見に努め、常任幹事の就任を要請しました。

自ずから常任幹事になるという人も出てきました。

課題は、常任幹事として定着し、専門能力を高め、決定事項を執行することです。

6. 学年幹事と懇談会

今期も学年幹事と常任幹事会の懇談会を2回開催しました。

この懇談会の利点は、お互いの氏名、卒業年次、仕事、人柄などを知り、親しくなっていくことでもあります。また、母校愛を確認する場にもなっております。

よい意見も数々いただいております。

課題は、出席者数の増大であります。

出席してくださった方々に対し、心からお礼を申し上げます。

7. 母校貢献策の検討

母校貢献策については、特別基金が蓄積しましたので、母校の要望について打診を行ってきました。

学校の要望は、体育祭等で使用する「テント」でありました。

同窓会本部の千歳会長に、学校の意向と東京同窓会の考えを伝えました。

9月18日、斎藤会長は母校訪問、校長先生、二人の教頭先生と会い、「テント」寄贈について打合せを行ってきました。

寄贈については、総会議案として上程しております。

課題は、母校にとって、どんな貢献策が有効なのか、関係者と話し合っていくことでもあります。

8. 山形同窓会総会に出席

総会は5月14日、山形市パレスグンデールで開催されました。

本会より斎藤会長と小原副会長が出席しました。小原副会長は、昨年自費で出席したので、今期は2万円支払いました。

総会は、約700名の会員が出席し、盛大なものでした。

総会は、総会の都度、各学年が交代で運営し、責任をもって活動を行っていました。

東京同窓会は、名前の紹介だけで終わりました。

山形同窓会会長として永年貢献された千歳貞治郎会長が、勇退しました。

ご苦労さまでした。

9. 東京同窓会の存在感を高める

東京同窓会の存在と活動状況は、山形在住の卒業生や在校生、本会の加入対象者に知られていない状況があります。

この状況を変えるため、校長先生や同窓会事務局の方へ、東京同窓会のPRをお願いしました。

課題は、PRの具体策の検討と取り組みであります。

10. 特別積立金強化のための寄付金集めの方法の検討

常任幹事会で寄付金集めの方法について、意見交換を行いました。結論が出ておりません。今後、意見交換をすすめ、結論が出るようにします。

課題は、金銭負担の伴う問題なので、時間をかけて検討することです。

11. 本校出身の県東京事務所職員に感謝

県職員の方々は、会計処理、会議の設定や連絡、食事の手配など多方面において、活動してもらっています。

総会では、飲食などができませんので、終了後、会長が毎年慰労をしております。

2～3年勤務後、山形勤務となりますので、退任の職員の方に会長がお礼を申し上げております。懇談会の経費負担もないようにしております。

県職員の方々の協力なくして、本会は機能しませんので、いつも感謝の気持ちをもって接していきたいと思っております。

山形南高東京同窓会 活動状況

平成21年10月から平成22年10月まで

- ◇平成21年10月3日（土）：ゆうぼうと
平成21年度山形南高東京同窓会 総会
・講演会「これからの山形県政について」
山形県副知事 高橋 節氏（南校18回）
・総会
・懇親会
- ◇平成21年11月19日（木）：都道府県会館
常任幹事会
・総会の総括について
・次年度事業計画について
- ◇平成22年1月29日（金）：うおや一丁銀座本店
役員・学年幹事新年懇親会
- ◇平成22年3月18日（木）：都道府県会館
常任幹事会
・前回計画事業等の検討について
・今後の予定について など
- ◇平成22年5月13日（木）：都道府県会館
常任幹事会
・今年度の進め方について
・本部総会について など
- ◇平成22年6月28日（月）：うおや一丁銀座本店
役員・学年幹事会
- ◇平成22年8月5日（木）：都道府県会館
常任幹事会
・総会準備について
・規程整備 など
- ◇平成22年9月27日（月）：都道府県会館
常任幹事会
・総会準備について など

議案第2号

山形南高東京同窓会 平成21年度 収支決算書 (案)

<収 入>

(単位: 円)

項 目	H21予算額 (A)	H21決算額 (B)	比較増減 (B-A)	摘 要
総会会費	850,000	839,000	△ 11,000	男性@8,000×103名、女性@5,000×3名
年会費	800,000	725,040	△ 74,960	@2,000×386名 (振込手数料控除後)
寄付金	70,000	70,000	0	総会来賓祝金
繰越金	405,350	405,350	0	
繰入金	620,000	620,000	0	特別積立金より繰入
広告協賛	120,000	130,000	10,000	
雑収入	0	642	642	預金利子
合計	2,865,350	2,790,032	△ 75,318	

<支 出>

(単位: 円)

項 目	H21予算額 (A)	H21決算額 (B)	比較増減 (B-A)	摘 要
会場使用料	35,000	29,452	△ 5,548	総会会場、来賓控室
懇親会経費	750,000	810,293	60,293	飲食費、抽選会景品代
会議費	200,000	115,325	△ 84,675	役員会・学年幹事会の会場料、弁当代等
総会案内経費	320,000	276,581	△ 43,419	
議案書印刷経費	200,000	171,413	△ 28,587	
事務費	120,000	104,913	△ 15,087	消耗品代、郵送運搬費、会報発送料、 振込手数料等
東京同窓会会報	230,000	230,000	0	
ホームページ制作費	60,000	0	△ 60,000	
特別積立金	620,000	620,000	0	特別積立金へ繰出
活動費	100,000	115,000	15,000	同窓会本部総会広告協賛金、 県人東京連合会総会協賛金・参加助成金
予備費	230,350	0	△ 230,350	
合計	2,865,350	2,472,977	△ 392,373	

※ 翌年度繰越額 (収入額と支出額の差額) : 317,055 円

山形南高東京同窓会 特別積立金 平成21年度 増減計算書 (案)

(単位: 円)

項 目		特別積立金額	摘 要
前年度末 残 額		620,000	
(増加の部)	一般会計より繰入	620,000	
	協賛金・寄付金等	0	
(減少の部)	一般会計へ繰出	620,000	母校貢献費
本年度末 残 額		620,000	


※ 翌年度繰越金 + 特別積立金残額 =	937,055 円
----------------------	-----------


会計監査報告書

平成 21 年度山形南高等学校東京同窓会の決算について、平成 21 年度の会計帳簿、伝票、預金通帳等を精査した結果、決算処理は適正に行われていることを確認した。

平成 22 年 6 月 28 日

山形南高等学校同窓会東京支部

監 事 加藤 芳男 

監 事 高橋 亨 

議案第3号

平成22年度主要活動取組計画（案）

※順不同

1. 役職員の職務分担規程（案）検討
2. 予算書、決算書及び正しい科目計上の在り方検討
3. ホームページ開設の周知徹底と内容充実
4. 読まれる分かりやすい親しみのある会報の発行
5. 動く、働く、奉仕する常任幹事会づくり
6. 後継者の発見と後継者育成
7. 納得のいく総会づくりの検討
8. 常任幹事会、学年幹事会の出席率向上策の検討
9. 母校貢献策の検討
10. 会費納入者の増大策と還元策の検討
11. 特別積立金強化のため寄付金募集
12. 山形同窓会との連携と協力の在り方検討
13. 他校同窓会活動の情報収集
14. 総会議案書の広告募集の検討
15. 各界で活躍している人の調査と紹介策の検討
16. 東京同窓会のPR
17. 母校出身の大学生、予備校生の激励と懇談会の検討
18. 母校のスポーツ部、文化部等の東京開催大会出場選手の激励
19. 会長、副会長、常任幹事、事務局等の役割分担の再検討と修正

議案第4号

山形南高東京同窓会 平成22年度 収支予算(案)

H22年10月9日

<収 入>

(単位: 円)

項目	H21 決算額 (A)	H22 予算額 (B)	比較増減 (B-A)	摘 要
*総会会費	839,000	905,000	66,000	男性@8000×110名 女性@5000×5名
*年会費	725,040	780,000	54,960	2000×390名
*寄付金	70,000	70,000	0	総会来賓祝金
*繰越金	405,350	317,055	△88,295	
*広告協賛	130,000	130,000	0	
*雑収入	642	0	△642	預金利子
合計	2,170,032	2,202,055	82,023	

<支 出>

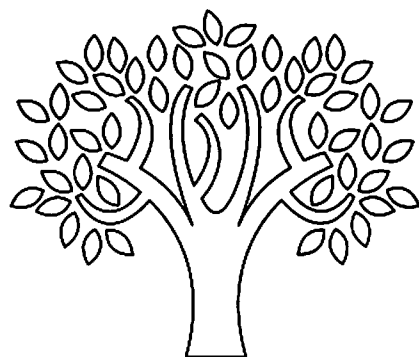
(単位: 円)

項目	H21 決算額 (A)	H22 予算額 (B)	比較増減 (B-A)	摘 要
*会場使用料	29,452	30,000	548	総会会場、来賓控室
*懇親会経費	810,293	850,000	39,707	飲食費・抽選会景品代
*会議費	115,325	130,000	14,675	役員会・学年幹事会の会場料、弁当代等
*総会案内経費	276,581	280,000	3,419	
*議案書印刷経費	171,413	180,000	8,587	
*事務費	104,913	110,000	5,087	消耗品代・郵送運搬費、 会報発送費、振込手数料等
*東京同窓会会報	230,000	250,000	20,000	
*ホームページ制作費	0	60,000	60,000	
*活動費	115,000	120,000	5,000	同窓会本部総会広告協賛 金・県人東京連合会協賛費
*予備費	0	192,055	192,055	
合計	1,852,977	2,202,055	349,078	

山形南高校東京同窓会 特別積立金平成22年度予算(案)

(単位: 円)

項 目		特別積立金額	摘 要
前年度末 残額		620,000	
(増加の部)	協賛金・寄付金等	50,000	
本年度末 残額		670,000	



議案第5号

特別基金活用

山形南高に本会より、特別基金を使用して「テント」一張を寄贈します。
「テント」には、本会の名前を記入します。

「テント」一張の購入月日、購入場所、購入方法、購入金額等については、山形南高に一任します。

本会は、山形南高の「テント」一張の購入請求書に基づき、特別基金より支払いを行います。

議案第6号

規約改正（案）

規約を次のとおり改正する。

1 改正の趣旨

新たに会計監査等を設置することに伴い、規約を改正する必要がある。

2 改正内容

(1) 規約第5条関係

新	旧
第5条第5項 「 <u>会計監査</u> 2名」	第5条第5項 「会計幹事 1名」
第5条第6項 削除	第5条第6項 「監事 2名」
第5条第 <u>6</u> 項 顧問 若干名	第5条第7項 顧問 若干名

(2) 規約第6条関係

新	旧
第6条 「会長、副会長、 <u>会計監査</u> 及び顧問は総会で選出し、他の役員は会長が委嘱する。」	第6条 「会長、副会長、監事及び顧問は総会で選出し、他の役員は会長が委嘱する。」

(3) 規約第7条関係

新	旧
第7条 「会長は本会を代表し会務を主宰する。副会長は会長を補佐し、会長が事故あるときは職務を代行する。常任幹事、幹事及び会計担当者は会長の命を受けてその会務を処理する。 <u>会計監査</u> は会計を監査する。顧問は重要事項に関し会長の諮問に応ずる。」	第7条 「会長は本会を代表し会務を主宰する。副会長は会長を補佐し、会長が事故あるときは職務を代行する。常任幹事、監事及び会計幹事は会長の命を受けてその会務を処理する。監事は会計を監査する。顧問は重要事項に関し会長の諮問に応ずる。」

3 附則

平成22年10月9日改正

施行日 平成22年10月10日

議案第7号

県立山形南高東京同窓会会計規程（案）

本会の会計健全化と会計規律確保のため、会計規定を制定します。

第一章 総則

（趣旨・目的）

第一条 この規程は、県立山形南高東京同窓会（以下「東京同窓会」という。）の規約に基づき、運営に伴う資金の出納、その他経費の取り扱い等に関して必要な事項を定め、もって本会の円滑な運営に資することを目的とする。

（会計処理の原則）

第二条 会計処理は、常任幹事会の責務のもとに、法令に別の定めがあるものを除くほか、この規程の定めるところにより、公正確実かつ効率的に遂行し、真実かつ明瞭に財政状況及び運営の実績を表示しなければならない。

（会計年度）

第三条 会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年の三月三十一日に終わる。

（会計担当の委嘱）

第四条 会計担当として、県東京事務所に勤務する東京同窓会会員に委嘱する。欠員が生じたときには、常任幹事会で会計担当者を決定する。

第二章 経費の管理及び取扱い等

（帳簿等）

第五条 東京同窓会には、次の帳簿等を備え付けなければならない。

- 一 現金出納簿
- 二 科目別収支簿
- 三 証憑書類綴
- 四 決算書、財産目録及び会計監査報告書

五 物品関係明細書

2 前項の簿冊の保存年限は、第一から第四号までは三年、第五号は一年とする。

(現金の取扱い)

第六条 東京同窓会の現金は、必要最小限度の額を除き、確実な金融機関に預金して、これを保管しなければならない。

(収支権限)

第七条 東京同窓会の収支権限は、次の区分による。

一 常任幹事会の決定を要するもの

ア 一件 円以上の支出をする場合

イ 一件 円以上の負債を負う場合

ウ 一件 円以上の科目流用及び予備費の充当をする場合

二 前号以外の一切の収支事項は、会長による決定

2 前項の規程にかかわらず、緊急やむを得ないとき、または定例軽易な事項は、会長が専決することができる。ただし、前項第一号については、常任幹事会の決定を経なければならない。

3 前項の取扱いをなす場合は、遅滞なく、それぞれ権限のあるものの承認を受けなければならない。

第三章 収入

(会費及び寄付金等の収入)

第八条 東京同窓会の経費は、会費及び寄付金等の収入をもって、これにあてる。会費の額は、規約第十条の定めるところによる。

(収入の管理)

第九条 会計担当者は、会費納付その他の収入を受けたときは、その内容を審査のうえ領収書を交付し、かつ、その控（収入伝票）を整理保管しなければならない。

第四章 支出

(支出の手続き)

第十条 経費を支出しようとするときは、会計担当者は、規約規程と照

合し、またその用途を審査して、支出すべき予算科目を決定のうえ領収書を徴して支出する。

- 2 会計担当者は、その用途を審査して、必要と認める場合は仮払いでできる。なお、仮払いの場合は、速やかに清算しなければならない。

第五章 予算

(編成及び決定)

第十一条 東京同窓会の収入及び支出は、すべて予算に編成する。

- 2 予算は、常任幹事会において一般会計と特別会計に区分して作成し、これを総会に提出して、その議決を経なければならない。

(科目)

第十二条 予算は、科目に分けて編成し、総会の審議の参考のため、説明をしなければならない。

- 2 予算の科目変更は、常任幹事会の承認を得なければならない。

第六章 決算

(常任幹事会への報告)

第十三条 会計担当者は、毎年収支状況を取りまとめ、その結果を総会前の常任幹事会に報告しなければならない。

(総会の承認)

第十四条 会計担当者は、毎会計年度終了後に決算を調整し会計監査の審査を受け、総会に報告し承認を受けなければならない。

第七章 監査

(任務)

第十五条 監査は、次に掲げる事項についてこれを行う。

- 一 収入支出現金及び預金の出納保管に関する状況
- 二 支出と領収書の照合
- 三 財産の出納保管に関する状況
- 四 備品、消耗品の保管並びに受払いに関する状況
- 五 その他会計の事務処理に関する状況

(実施時期)

第十六条 定期監査は、毎年あらかじめ期日を指定してこれを行い、臨時監査は、常任幹事会によって必要と認められたときこれを行う。

(総会及び常任幹事会への報告)

第十七条 会計監査は、監査の結果及び改善を要すると認められる事項は、総会及び常任幹事会に報告しなければならない。

第八章 補則

(規程の改廃)

第十八条 この規程は、常任幹事会の議決により改廃する。改廃の結果については、総会に報告する。

附則

この規程は、平成二十二年 月 日から施行する。

平成21年度 山形南高校東京同窓会出席者名簿 2009. 10. 3

卒業回数	氏名
南18	高橋 節
高2	千歳貞治郎
南6	佐藤 充彦
	布川 元
南7	鈴木 庄八
南7	松ノ井 薫
	清野 一晴
	三澤 潔子
南5	斎藤 常男
中2	小原 久男
中5	加藤 忠利
高2	江口 文雄
高2	丹野 益男
南1	小笠原 浩
南1	森谷 亨
南1	山口 正輝
南1	椿 尋昭
南2	梅津 繁
南2	加藤 伸
南2	今田 幸雄
南2	須藤 清
南2	吉田 文男
南3	大滝 正太
南3	後藤 宏美
南3	舟橋 一夫
南3	吉野 禮三
南4	浅黄 優喜
南4	鏡 清蔵
南4	佐藤 寛治
南4	作山登喜子
南5	藤沢 佳広
南5	村川 透
南6	坂本 成子
南6	高橋 政子
南6	遠藤 宏
南6	奥山 専逸
南6	小関 憲一
南6	加藤 芳男

卒業回数	氏名
南6	川崎 勝美
南6	寒河江利夫
南6	佐藤 忠雄
南6	佐藤 實
南6	江口 光夫
南6	高橋 亨
南6	中村 武
南6	林 正夫
南6	増子 修
南6	渡辺 滋
南7	江口 禎朗
南7	小笠原良夫
南7	黒田 巖
南7	早坂 仁作
南7	古瀬 忠良
南8	武田 幹雄
南8	牧野 靖信
南8	山田 勲
南8	渡辺 時彦
南9	石垣 丘志
南9	小原征四朗
南9	片桐 郁夫
南9	工藤 大和
南9	斉藤 信
南9	清水 紀久
南9	菅沼 祐一
南9	鈴木 隆
南9	須藤 迪
南9	高橋 英也
南9	富木 政邦
南9	山口 健三
南9	米屋 武志
南10	青山 昭夫
南10	尾形 昌広
南10	倉知 晃一
南10	佐藤 義幸
南10	鎌倉 崇
南10	清野 正昭

卒業回数	氏名
南10	原田 陣悦
南10	平尾 眞次
南10	平澤 一宏
南11	有海 豊
南11	柏倉 常昭
南11	黒田 定男
南11	富田 隆造
南12	毛利 昭
南14	高橋 義弘
南15	窪田 信雄
南15	小松栄三郎
南15	滝口 成一
南18	押野 勉
南18	金子 敏雄
南18	鈴木 芳男
南20	高橋喜代志
南20	深瀬 幸男
南21	杉村 宏
南21	鈴木 義和
南22	矢野 一雄
南25	村岡 登
南25	鈴木 淳一
南26	悪七 秀樹
南26	高橋 亘
南26	土屋 信博
南26	佐藤 義洋
南27	金子 裕章
南28	五十嵐善明
南28	奥山 俊一
南28	杉本 俊夫
南28	相馬 和弘
南28	松川 裕和
南28	峯田 淳
南29	安孫子雅敏
南33	武田 衛
南36	山田 健嗣
南36	吉田 光伸
南38	梶沼 和幸

議案第8号

平成 22 年度 役員

※規約第6条 会長、副会長、監査及び顧問は総会で選出し、他の役員は会長が委嘱する。（敬称略）

会 長

副 会 長

副 会 長

副 会 長

監 査

監 査

顧 問 会田 雄亮（二高2回）〔大学名誉教授〕

顧 問 森谷 亨（南高1回）〔医師〕

顧 問 土屋 裕司（南高2回）〔警視庁警視正、
警察大学主任教授〕

顧 問 浅黄 優喜（南高4回）〔前副会長〕

平成22年度常任幹事と事務局

常任幹事	早坂 仁作 (南高7回・応援部)
常任幹事	有海 豊 (南高11回・絵画部)
常任幹事	小松栄三郎 (南高15回・合唱部)
常任幹事	滝口 成一 (南高15回・バレー部)
常任幹事	鈴木 淳一 (南高25回・レスリング部)
常任幹事	村岡 登 (南高25回・バスケット部)
常任幹事	相馬 和弘 (南高28回・レスリング部)
常任幹事	杉本 俊夫 (南高28回)
常任幹事	安孫子雅敏 (南高29回・吹奏楽部)
常任幹事	西宮 忍 (南高33回)
常任幹事	山田 健嗣 (南高36回)

■山形県東京事務所

事務局	佐竹 良一 (南高32回)
事務局	石山 清和 (南高32回)
事務局	武田 広幸 (南高34回)
事務局	飯野 典朗 (南高39回・野球部)



- 常任理事 清野正昭さん (南高10回) が平成22年8月12日急逝されました。謹んで哀悼の意を表します。
清野さん 東京同窓会のために働いてくれてありがとうございました。貴方の功績を忘れません。 — 合掌

- 異動退任……ご苦労さまでした。

吉田 光伸 (南高36回・合唱部)

山形南高東京同窓会規約

第1条 本会は県立山形南高等学校同窓会「東京支部」とし、「山形南高東京同窓会」と称する。

第2条 本会は「関東地区」に在住する山形県立山形第二中学校、山形県立山形第二高等学校及び山形県立山形南高等学校卒業生並びに校友を以て組織し、事務局を山形県東京事務所（千代田区平河町二丁目6-3都道府県会館）内に置く。

第3条 本会は会員相互の親睦を図ると共に、母校の発展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 母校の事業後援
2. 会員名簿の発行
3. 会員相互の連絡、親睦に関する事
4. 母校同窓会との連絡に関する事
5. その他本会の目的に適する事業

第5条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|---------------|-----|
| 1. 会 長 | 1 名 |
| 2. 副 会 長 | 若干名 |
| 3. 常任幹事 | 若干名 |
| 4. 幹事（各卒業年次毎） | 若干名 |
| 5. 会計幹事 | 1 名 |
| 6. 監 事 | 2 名 |
| 7. 顧 問 | 若干名 |

- 第6条 会長、副会長、監事及び顧問は総会で選出し、他の役員は会長が委嘱する。
- 第7条 会長は本会を代表し会務を主宰する。副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時は職務を代行する。常任幹事、幹事及び会計幹事は会長の命を受けその会務を処理する。監事は会計を監査する。顧問は重要事項に関し会長の諮問に応ずる。
- 第8条 役員任期は2ヶ年とする。但し、再選を妨げない。
- 第9条 総会は年1回、臨時総会は随時会長がこれを開催する。
- 第10条 本会の経費は会費（一人年2,000円）及び寄付金等をもってこれに当てる。
- 第11条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年の3月31日に終わる。
- 第12条 本会会則は総会の決議によりこれを変更することができる。

付 則

本規約は平成14年12月3日より施行

規約改正平成20年10月28日 施行日10月29日

県立山形南高同窓会東京支部会員表彰規程

第一条 県立山形南高同窓会東京支部（以下「東京同窓会」という。）
会員の表彰については、この規程の定めるところによる。

第二条 表彰は、東京同窓会会長が東京同窓会総会（以下「総会」とい
う。）で行う。

第三条 表彰の対象は、東京同窓会会員のうち次の者とし、東京同窓会
常任幹事会（以下「常任幹事会」という。）において審査し決定
する。

- (1) 顕著な業績により社会に貢献した者
- (2) 東京同窓会に多大な貢献をした者
- (3) 東京同窓会に対し物品等の寄贈や寄付を行った者
- (4) その他表彰にふさわしいと認められた者

第四条 被表彰者には、表彰状又は感謝状並びに記念品を贈呈する。

第五条 この規程に定めのない事項並びに規程の改廃については、常任
幹事会で協議のうえ決定し、総会に報告する。

附 則

この規程は、平成二十一年十月四日から施行する。

県立山形南高同窓会東京支部寄付金取扱規程

第一条 県立山形南高同窓会東京支部（以下「東京同窓会」という。）に対する寄付金の取扱いについては、この規程の定めるところによる。

第二条 東京同窓会は、東京同窓会規約第十条に基づき、母校への事業後援等を目的とする特別基金を一層強化するため、寄付金募集の活動を行う。

第三条 東京同窓会が受け入れた寄付金は、寄付者の意向に沿って、前条の特別基金に繰り入れる。

第四条 東京同窓会は、寄付金を受け入れたときは、東京同窓会総会（以下「総会」という。）議案書等で寄付者の氏名を公表する。

第五条 この規程に定めのない事項並びに規程の改廃については、東京同窓会常任幹事会で協議のうえ決定し、総会に報告する。

附 則

この規程は、平成二十一年十月四日から施行する。

第三部 懇親会

懇親会次第

司会／安孫子 雅敏

//////////////////////////////////// 第 1 部 //////////////////////////////////////

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 開会の挨拶 | 山田 勲 副会長 |
| 2. 物故者に黙祷 | |
| 3. 校歌斉唱 | 菅沼 祐一 (南高9回) |
| 4. 東京同窓会会長挨拶 | 齋藤 常男 会長 |
| 5. 山形南高等学校同窓会 | 佐藤 充彦 会長 |
| 6. 山形南高等学校校長挨拶 | 布川 元 校長 |
| 7. ご来賓の挨拶 | |
| ・山形県東京事務所 | 相田 信 所長 |
| ・山形県人東京連合会 | 三澤 潔子 会長 |

//////////////////////////////////// 第 2 部 //////////////////////////////////////

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 乾 杯 | |
| 2. ご来賓紹介 | |
| 3. 東京同窓会役員・常任幹事紹介 | |
| 4. 東京同窓会顧問・学年幹事紹介 | |
| 5. 懇談、交流タイム・各学年出席者紹介 | |
| 6. 抽 選 会 | |
| 7. 南高応援歌「空はコバルト」 | 菅沼 祐一 (南高9回) |
| 8. ガンパロウ | |
| 9. 閉会の挨拶 (三本手締め) | 小原 征四郎 副会長 |

※状況によって変更する場合がありますのでご了承ください。

////////// 平成22年度 山形南高校東京同窓会 総会 来賓 //////////

山形南高等学校同窓会	会 長	佐藤 充彦 様
山形南高等学校同窓会	副 会 長	金森 義弘 様
山形南高等学校同窓会	副 会 長	武田 浩一 様
山形南高等学校同窓会	副 会 長	揚妻 奉昭 様
山形南高等学校同窓会	副 会 長	荒井 満 様
山形南高等学校同窓会	副 会 長	吉田 福平 様
山形南高等学校同窓会	副 会 長	吉村 和文 様
山形南高等学校同窓会	特別顧問	千歳貞治郎 様
山形南高等学校同窓会	監 事	鈴木 庄八 様
	(山南スポーツOB会長)	
山形南高等学校同窓会	監 事	松ノ井 薫 様
	(山南文化部OB会長)	
山形南高等学校同窓会	監 事	坂部 登 様
山形南高等学校	校 長	布川 元 様
山形県東京事務所	所 長	相田 信 様
山形県人東京連合会	会 長	三澤 潔子 様

////////////////////////////////////

各 学 年 会

学	年
二中 1回	元祖会
2・3回	流薪会
4回	モッコ会
二高 2回	十九年組
南高 1回	南老会
2回	壬辰の会
3回	二八会
4回	二九会
5回	五南会
6回	六日会・六南会
7回	七重会
8回	南八会・ミミの会
9回	華九会
10回	南天会
11回	南士会
12回	十二会
13回	徒魅の会
14回	斗士会
15回	一五会
16回	十六夜会
17回	老七会
18回	南十八公会
19回	十九会
20回	ふたまる会
21回	式老会
22回	志士の会
23回	南風会
24回	二四の会
25回	四半世紀会
26回	二漏俱会
27回	さざん会
28回	鉄人会

学	年
29回	(福の会)
30回	
31回	丹霞会
32回	
33回	燦々会
34回	参志会
35回	讃迎会
36回	彌勒会
37回	みんなの会
38回	燦弥会
39回	ThankYou会
40回	
41回	酔子会
42回	志風会
43回	四讃会
44回	真心会
45回	45ちゃんねる
46回	
47回	
48回	
49回	
50回	
51回	
52回	
53回	
54回	
55回	
56回	
57回	
58回	
59回	

山形南高校東京同窓会役員

2010. 4. 1

年度	会 長	副会長	常 任 幹 事	顧 問	事務局
14	渡辺 幸雄	森谷 亨 斎藤 常男	椿 尋昭・土屋 裕司 吉野 禮三・浅黄 優喜 大貫 祐輔・江口 光夫 鈴木 隆・高橋 節 安孫子雅俊・高橋 健一	大塚 利実 会田 雄亮 丹野 益男	斎藤 博 佐竹 良一 欺波 克昭
15	渡辺 幸雄	森谷 亨 斎藤 常男	椿 尋昭・土屋 裕司 吉野 禮三・浅黄 優喜 大貫 祐輔・江口 光夫 鈴木 隆・栗原 将 熊沢 貢・安孫子雅俊 高橋 健一	大塚 利実 会田 雄亮 丹野 益男	伊藤 正弘 佐竹 良一 欺波 克昭
16	斎藤 常男	椿 尋昭 土屋 裕司 吉野 禮三 浅黄 優喜	江口 光夫・山田 勲 鈴木 隆・栗原 将 熊沢 貢・安孫子雅俊 高橋 健一	会田 雄亮 丹野 益男 渡辺 幸雄 森谷 亨	斎藤 博 伊藤 正弘 欺波 克昭 加藤 康士 佐藤 哲也
17	斎藤 常男	椿 尋昭 土屋 裕司 吉野 禮三 浅黄 優喜	江口 光夫・山田 勲 鈴木 隆・栗原 将 安孫子雅俊・高橋 健一 渡辺 弘樹	会田 雄亮 丹野 益男 渡辺 幸雄 森谷 亨	伊藤 正弘 加藤 康士 佐藤 哲也
18	斎藤 常男	椿 尋昭 土屋 裕司 吉野 禮三 浅黄 優喜 江口 光夫	武田 幹雄・山田 勲 小原征四郎・鈴木 隆 安孫子雅俊・山口 輝明 高橋 健一・渡辺 弘樹 栗田 隆	会田 雄亮 丹野 益男 森谷 亨	渡邊 修 吉田 正幸 加藤 康士 斎藤 健二
19	斎藤 常男	椿 尋昭 土屋 裕司 吉野 禮三 浅黄 優喜 江口 光夫	山田 勲・小原征四郎 鈴木 隆・清野 正昭 安孫子雅俊・山口 輝明 高橋 健一・西宮 忍 渡辺 弘樹・山田 健嗣 栗田 隆	会田 雄亮 丹野 益男 森谷 亨	渡邊 修 吉田 正幸 斎藤 健二
20	斎藤 常男	椿 尋昭 江口 光夫 山田 勲 小原征四郎	鈴木 隆・清野 正昭 有海 豊・小松栄三郎 滝口 成一・鈴木 淳一 安孫子雅俊・西宮 忍 渡辺 弘樹・山田 健嗣 栗田 隆	会田 雄亮 丹野 益男 森谷 亨 土屋 裕司 浅黄 優喜 (常任顧問)	吉田 正幸 吉田 光伸

年度	会 長	副会長	常 任 幹 事	願 問	事務局
21	斎藤 常男	江口 光夫 山田 勲 小原征四郎	早坂 仁作 清野 正昭・有海 豊 小松栄三郎・滝口 成一 鈴木 淳一・村岡 登 相馬 和広・杉本 俊夫 安孫子雅俊・西宮 忍 渡辺 弘樹・山田 健嗣	会田 雄亮 丹野 益男 森谷 亨 土屋 裕司 浅黄 優喜 (常任顧問)	吉田 光伸

MEMO

晴

原平22日

(奉回) 高南 邀 表 調 計 員 全 察 回

(奉回) 高南 擬 整 務 金 費 全 議

(奉回) 高南 一 部 回 策

(奉回) 高南 海 春 壽 賀

(奉回) 高南 歡 表 策

(奉回) 高南 承 羅 田 壽

(奉回) 高南 文 味 研 習

(奉回) 高南 凡 京 本 議 表 議

(奉回) 高南

(奉回) 高南 策 務 議

(奉回) 高南

(奉回) 高南 登 務 策

》

祝

平成22年度

山形南高等学校東京同窓会総会

同窓会長 佐藤充彦 (南高6回卒)

副会長 金森義弘 (南高9回卒)

〃 武田浩一 (南高11回卒)

〃 揚妻奉昭 (南高14回卒)

〃 荒井満 (南高16回卒)

〃 吉田福平 (南高22回卒)

〃 吉村和文 (南高28回卒)

監事 鈴木庄八 (南高7回卒)
(山南スポーツOB会長)

〃 松ノ井薫 (南高7回卒)
(山南文化部OB会長)

〃 坂部登 (南高18回卒)

内 科 アレルギー科
小児科 リウマチ科

内科専門医・アレルギー専門医・リウマチ専門医

森 谷 医 院

院 長 森谷 亨(南高1回卒)
副院長 森谷泰和

〒167-0054 東京都杉並区松庵1-8-6
TEL.03-3334-7285

祝

平成22年度

山形県立山形南高等学校

東京同窓会総会

東 京 南 窓 会

事務局：森谷医院内
〒167-0054 杉並区松庵1-8-6
TEL.03-3334-7286

TOWA

地球環境と優しいおつきあい。
土木、舗装、上下水道工事、
空調衛生設備設計施工。

株式会社 東和工業

代表取締役 吉田 文男 (山南2回卒)
(旧姓 後藤)

〒274-0806

千葉県船橋市二和西 6-24-17

TEL 047-447-0461 FAX 047-447-0679

祝

平成22年度

山形県立山形南高等学校
東京同窓会総会

南高四回卒

山南東京二九会 有志

舟橋法律事務所

弁護士 舟橋一夫 (南高3回卒)

事務所

〒160-0022

東京都新宿区新宿2丁目4番8号

第28宮庭マンション803

電話:(03)3354-5451

FAX:(03)3354-6092

祝

平成22年度

山形県立山形南高等学校
東京同窓会総会

南高三回卒 東京二八会
ふたば会

笑顔の歯医者さん

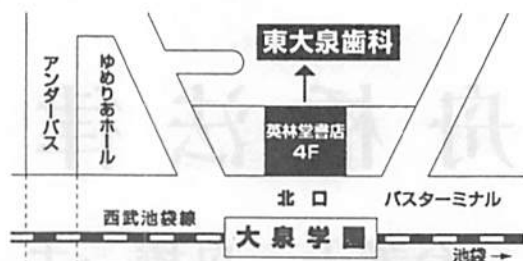


口腔内カメラを使ってやさしく説明します
インフォームドコンセントを行っております

一般歯科
医療法人社団 三栄会

東大泉歯科医院

= 診療時間 =
平日 9:00AM~12:00PM
2:00PM~6:00PM
土曜日 9:00AM~12:00PM
休診日 日曜日 祝日



医療法人社団 三栄会

東大泉歯科医院

理事長 安藤 三男
(南高六期生)

〒178-0063
東京都練馬区東大泉1-30-4-401
TEL 3923-6500 FAX 3923-6502

祝

平成22年度

山形県立山形南高等学校東京同窓会総会

海産物・塩干・珍味卸

株式会社 稲和商店

代表取締役 稲田 和夫
(南高6期生)

本社 〒410-0003 静岡県沼津市新沢田町17-14
電話 (055) 923-5319 夜間電話 (055) 923-1555
FAX (055) 924-1577

祝

平成22年度

山形県立山形南高等学校

東京同窓会総会



南高6回卒業生「六南会」一同

祝

平成22年度

山形県立山形南高等学校 東京同窓会総会

南高八回卒 ミミの会 有志

昭和33年3月卒東京同期会

ミミの会例会

毎年2月第2土・日 一泊親睦旅行

祝！山形南高東京同窓会総会

《東京駅から30分の近さ》

アパート、マンションを借りる際は
“安心取引”の当社をご利用ください。

- ◎アパートの賃貸センター
- ◎新築住宅・ビル建築・中古住宅
- ◎管理アパート等 1,550戸
- ◎管理駐車場 1,600台

東京—成田の総武線
JR。東船橋駅南口ホーム前
(有) 東船橋不動産

千葉県船橋市東船橋1-37-7
TEL 0474 (24) 7200 (代)
FAX 0474 (24) 7201
<http://www.chintai-center.co.jp>

代表取締役 鈴木 隆 (南高9回卒)

本出版……

- ① *駅前不動産屋のよもやま巷談 *アパマン得する88の借り方
 *アパート マンション得する借り方 *駅前不動産屋の借り手の苦情
 ●ゴマブックス社 03-3539-4141 でお取りよせ下さい。
- ② *不動産賃貸が変わる
 ●週間住宅新聞社 03-3209-7721 でお取りよせ下さい。

祝

平成22年度

山形県立山形南高等学校

東京同窓会総会

華 九 会

関東地区一同

一土会

あけび会

南高 9回卒

快適な地球と人間環境の調和をめざして

総合設備工事

空調 給排水 衛生 消火 クリーンルーム
メンテナンス 設計及び施工

— 東京都指定上下水道工事店 —



清和産業株式会社

代表取締役 佐藤 義幸 (10回生)

専務取締役 佐藤 宜義

本社 東京都江東区佐賀一丁目5番6号
TEL: 03-3642-1921
FAX: 03-3642-1923
E-mail: seiwasangyo@k5.dion.ne.jp

祝

平成22年度

山形県立山形南高等学校

東京同窓会総会

南高10回卒 「南天会」有志

祝 山形県立

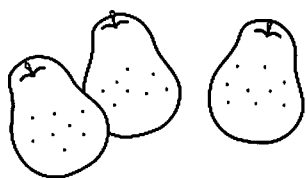
同窓会長	齋藤 常男	(南高 5 回卒)
副会長	江口 光夫	(南高 6 回卒)
〃	山田 勲	(南高 8 回卒)
〃	小原征四郎	(南高 9 回卒)
常任幹事	早坂 仁作	(南高 7 回卒)
〃	清野 正昭	(南高 10 回卒)
〃	有海 豊	(南高 11 回卒)
〃	小松栄三郎	(南高 15 回卒)
〃	滝口 成一	(南高 15 回卒)
〃	鈴木 淳一	(南高 25 回卒)
〃	村岡 登	(南高 25 回卒)
〃	相馬 和広	(南高 28 回卒)
〃	杉本 俊夫	(南高 28 回卒)
〃	安孫子雅敏	(南高 29 回卒)
〃	西宮 忍	(南高 33 回卒)
〃	山田 健嗣	(南高 36 回卒)

平成 22 年 度
山形南高等 学校
東京同窓会 総会

監 事 加藤 芳男 (南高 6 回卒)
〃 高橋 亨 (南高 6 回卒)

顧 問 会田 雄亮 (二高 2 回卒)
〃 丹野 益男 (二高 2 回卒)
〃 森谷 亨 (南高 1 回卒)
〃 土屋 裕司 (南高 2 回卒)
〃 浅黄 優喜 (南高 4 回卒)

事 務 局 石山 清和 (南高 32 回卒)
〃 佐竹 良一 (南高 32 回卒)
〃 武田 広幸 (南高 34 回卒)
〃 飯野 典朗 (南高 39 回卒)



MEMO

Blank lined memo paper with a vertical margin line on the left and horizontal dashed lines for writing.

総会スローガン

諸先輩が結成した山形南高東京同窓会を
みんなの力で育て発展させよう!

私たちを育ててくれた母校に感謝し
母校の発展に寄与しよう!

大都会で学び働く私たちは
東京同窓会に結集し 共に助け合い
この人生を頑張っていこう!

ふるさと山形同窓会と連携協力し
南高同窓会を更に発展させよう!
